

ムシトリナデシコ

Silene armeria

ナデシコ科

名前の由来

虫を取るナデシコ。茎上部の節々から出る粘液に、よく小さな虫がからめ取られて死んでいることから。食虫植物ではない。ナデシコは、可愛い花を愛児に擬して「撫子」から、ナデサスリグサ(撫擦草)から、他の説がある。漢字名:虫取撫子



ムシトリナデシコ

形態的特徴

高さ20~50cm。全体が無毛、平滑で、さらりとした手触り。茎、葉は、やや粉白色を帯びた緑色。葉には柄はなく長楕円形~卵形で基部は茎を(囲むように)抱く。茎上部の節間に褐色の粘液を出す部分がある。花は濃いピンク色で径1cmほど、5枚の花びら(花弁)を持ち、基部のがくは細長

く筒状になっている。茎上部に多数の花が集まって散形になる。まれに花の色が白色~淡いピンク色のものもある。

類似種: 特になし。

生育環境・分布

河川敷や海岸、荒地、道端などに生え、よく群生する。乾燥した地中海沿岸が原産なため、やせて乾いた場所を好む。

分布: 国外では、南ヨーロッパ原産で各国に分布する。

国内分布は、北海道から九州。

北海道内分布は、全道。

十勝地方では、河川敷や海岸、荒地、道端などに普通に見られる。よく群生する。特に河川敷のやや乾燥したところでムシトリナデシコのお花畑となっている。

生活史

開花時期: 7~8月。開花までの年数: 1~2年。寿命: 1~2年草。

他生物との関わり

花には虫が訪れる。

興味深い話

■江戸時代末期に観賞用として導入され、各地で逸脱し、野生化している。



ムシトリナデシコ

生活サイクル

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 開花期 | | | | ■ | | | | | | | | |
| 結実期 | | | | ■ | | | | | | | | |

参考文献

「日本帰化植物写真図鑑」清水矩宏・森田弘彦・廣田伸七 全国農村教育協会 2001

「北海道帰化植物便覧 2000年版」五十嵐博 北海道野生植物研究所 2000

「北海道植物図譜」滝田謙讓 自費出版 2001

「花のおもしろフィールド図鑑 春」ピッキオ 実業之日本社 2001

「名前といわれ 野の草花図鑑1」杉村昇 偕成社 1985

「図説 花と樹の大事典」木村陽二郎・植物文化研究会・雅麗柏書房 1996

魚類

底生動物

両生類
爬虫類

トンボ

チョウ

樹木

(在来種)
草花

(外来種)
草花

哺乳類

(水辺)
鳥類

(草原・樹林)
鳥類
ワシ・タカ